

小串小学校からは、青く美しい響灘や、音楽家コルトーが愛した厚島を望むことが出来ます。海側からしか見ることのできない国指定天然記念物「大吼谷^{おおごうや}蝙蝠洞^{こうもりどう}」もあり、どれも地域の大切な宝です。子どもたちにふるさと小串の魅力を知ってほしいという地域の願いから、5・6年生を対象に夏休みの「厚島探検」を実施しています。初めてのクルーズに心を躍らせる子どもたちは、地域の自然に親しんでいます。子どもたちの希望から実現したスイカ割りや海水浴、サーフィン、SUPなどの体験活動も、地域の方々の協力によって行われます。自分たちの思いが形になる喜びを味わうとともに、地域とのつながりや感謝の心を育む貴重な機会となっています。

ふるさと小串の宝を未来へ



Shimonoseki

学校だより

school news

第07号

小串
小学校

市立学校の特色ある取り組み、子どもたちの生き生きとした姿、地域とのつながりを紹介します。学校から、まちの元気・未来をお届けします。

厚島探検始まって23年

地域学校協働活動推進員
藤村 高史 さん



厚島探検は2003年当時の小串支所、小串連合自治会、小串漁協、小串公民館の協力で始まりました。その後、桟橋の設置が不可能になったため上陸は諦め、島周辺のクルージングへと行事は変わりました。小学校の児童数が減る中で積極性や主体性を持ってほしいと考え、何をしたいかを児童に考えてもらい、行事を追加しました。自治会(地域)、漁協、小串スポーツ振興会、青少年育成、公民館の協力で形は変わってきていますが、地域全体で小串小学校児童に自然豊かな小串の魅力を長年伝えています。

受け継ぐもの

中野 達史 校長



小串小学校の厚島探検！

「地域の子どもを地域で育てる。」そんな思いのこもった行事です。

子どもたちは行事の中で、小串地域の皆さんと触れ合い、その思いに気づき、「僕たちは温かい地域の皆さんに囲まれて幸せです。僕もふるさと小串のために何ができるかを考えていきたいです。」…そんな感想を持つ子も育っています。

厚島探検そのものだけではなくて、地域のすてきな思いと一緒に受け継いでいってほしいと考えています。

地域みなさんに感謝！

今年のクルーズは風が強かったのですが、厚島の裏側までは行けませんでした。船の先頭に立っていると、波を越えるときに上下に揺れるのが遊園地のアトラクションみたいでとても楽しかったです。こうもり洞も見に行くことができて、とても面白かったです。地域の方には、活動する中で将来役に立つ知識も教えてもらいました。中学生になったら生かしたいです。こんな素晴らしい体験ができて、小串小学校の児童でよかったなと思いました。地域の方にありがたい気持ちでいっぱいです。(6年生児童)



小串小学校データ

所在地 豊浦町小串

617番地

児童生徒数 17人

学級数 4学級

目指す児童像

「人」が大好き・「学び」が大好き・「小串」が大好き

